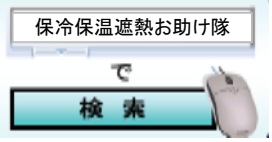
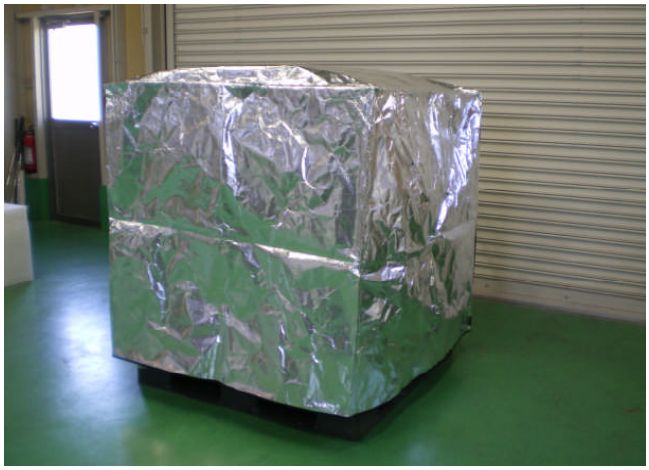
輸送による温度対策・結露対策などのエキスパート！
保冷箱・保冷試験、何でもご相談ください。
保冷・保温・遮熱お助け隊
http://onshitsudo.com/

ティ・エス・ケイ株式会社
TEL:076-478-5550
FAX:076-479-9051

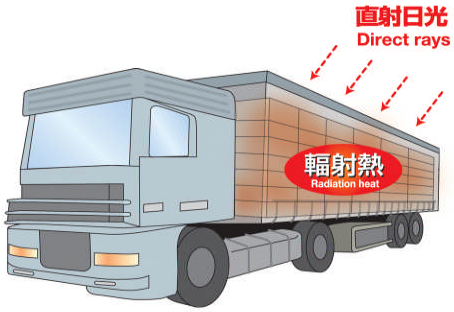


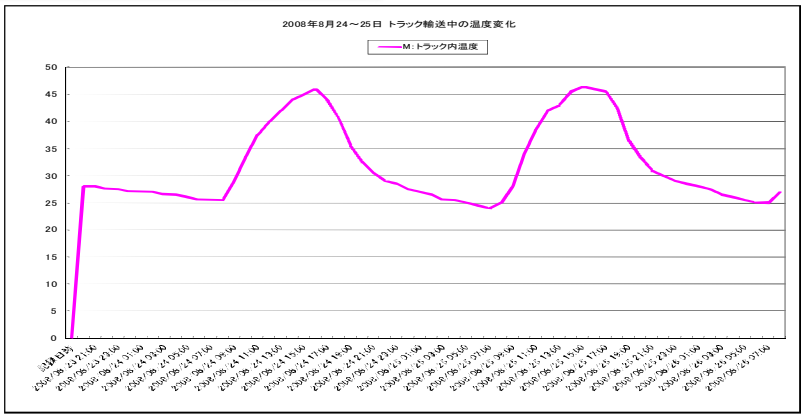
輻射熱防止パレットカバー

パレットサイズで輻射熱対応！　納期も即納品が可能です！



疑問１　どのような時に輻射熱防止カバーは有効なの？





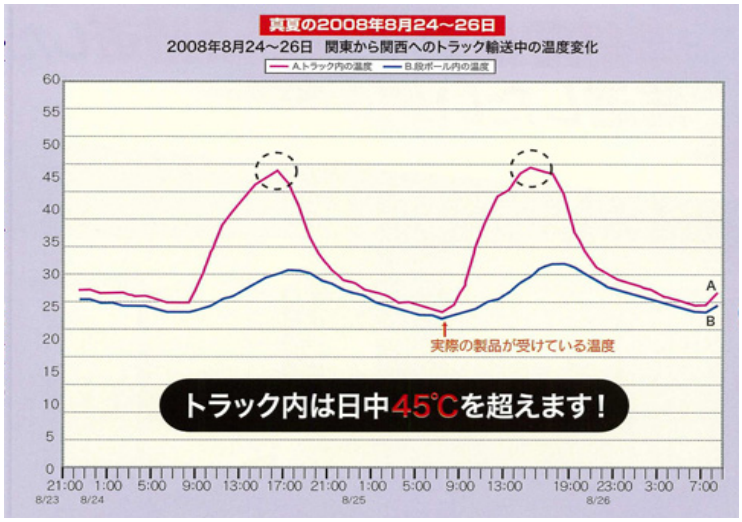
猛暑により最近、7～9月などの炎天下の日にトラックの温度は、45度～70度と高い温度環境となっています。その要因のほとんどが輻射熱（放射熱）であり、その際に、製品の品質劣化を起こす可能性がより高くなってきています。

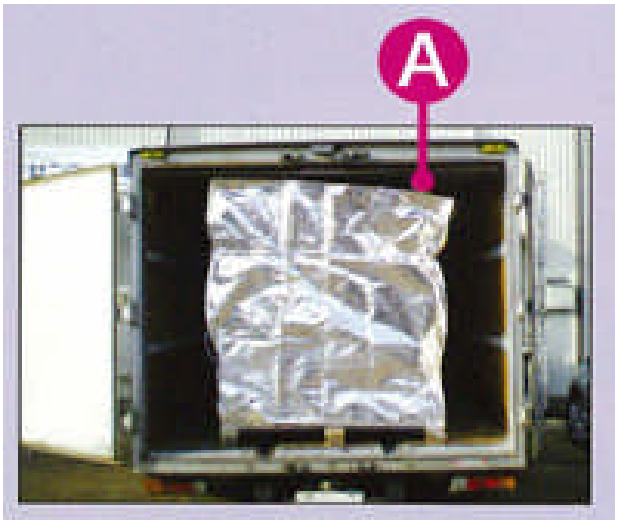
輻射熱防止カバーの実用例

- ■危険物で海上輸送においてリーファー不可な製品
- ■小麦粉・・・高温による品質劣化
- ■果物（高温、凍結）・・・高温による品質劣化
- ■ケミカル原料（高温、凍結）・・・高温、または凍結よる品質劣化
- ■塗料（高温、凍結）・・・高温、または凍結よる品質劣化
- ■電池（高温、低温）・・・高温、または凍結よる品質劣化
- ■バッテリー（高温、低温）・・・高温、または凍結よる品質劣化
- ■フィルム（高温、低温）・・・高温、または凍結よる品質劣化
- ■トナー（高温）・・・高温、または凍結よる品質劣化
- ■接着剤（高温、凍結）・・・高温、または凍結よる品質劣化

輻射熱防止カバーの実測値【トラック】

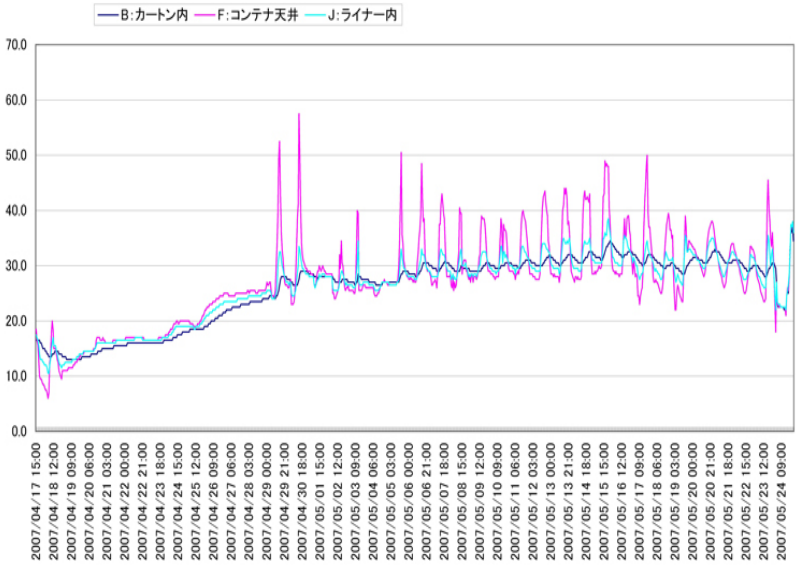
トラック内で45℃の温度が出ているのに対し、カバーをした製品は最大32℃

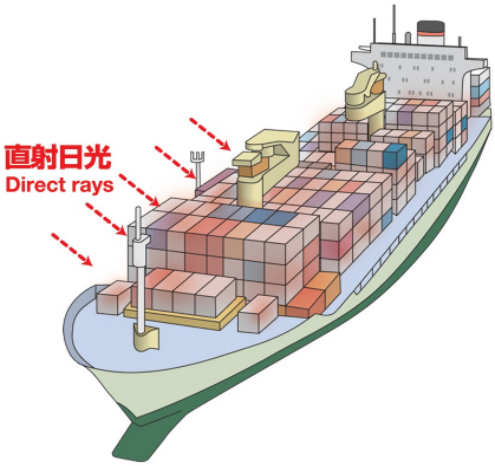




トラック内で45℃の温度が出ているのに対し、カバーをした製品は最大32℃となり13℃の温度を抑制することが可能です。
また温度変化が少ないため、結露対策などにも有効となります。
最近でいくと気温が40℃を上回る日があります。40℃を上回る日の場合、トラック内温度で70℃近くまで
上昇するのでより温度管理する際に有効となります。

輻射熱防止カバーの実測値【海上コンテナ】





海上コンテナの輸送でも輻射熱防止シートは大きな効果を発揮しています。
下記のような悩み事であれば、大きな物流改善が可能です。

■商品は常温であれば劣化することはない。

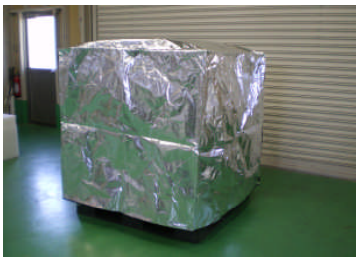
■リーファーコンテナを使用するのをやめたい。

■寒冷地などで製品が凍結するのがNG

■危険品なのでリーファーコンテナが使用することができない。

規格サイズ

一般規格パレットの1100×1100パレットサイズで規格品があります。

製品名	内寸法【mm】
1100×1100輻射熱防止パレットカバー	外寸；1200×1200×1300H (mm)

※要望サイズを作製することも可能です。